

広報

くわん

2019
No.733

4

雪原にともる感謝の灯

(3月2日、スキー場感謝デー＝開校記事 10頁)

主な内容

所信表明	2～5	伊保内高校卒業式	11
当初予算	6～8	シルリハ体操の集い	12
スキー場感謝デー	10	オボデ塾演芸まつり	20

施策を着実に推進

第1回村議会定例会は3月4日から3月14日までの11日間、役場本会議場で開かれました。五枚橋久夫村長は、村づくり全般にわたる基本的な考えと主な施策を明らかにしました。ここでは、村長の所信表明演述の主な施策を紹介します。(2〜5ページ)



所信表明を述べる五枚橋久夫村長

1 魅力ある産業の創出

① 農地利用の最適化

▼農地の集積と遊休農地解消および青年などの就農促進策の強化を2本の柱に据え、関連事業を展開。

▼多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金について、営農集落への周知活動に努め、農地利用の最適化と農村環境の維持を図る。

② 農業後継者確保対策

▼農業を担う多様な人材の育成と確保に努める。

▼青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。

③ 農業環境の整備

▼九戸村農業生産基盤整備事業や活力ある中山間地域基盤整備事業などを活用し、効率的な基盤整備を推進。あわせて受益者負担の軽減を図る。

④ 園芸・特産振興

▼生産規模の拡大や生産性の向上、担い手の確保・育成に努める。

⑤ 畜産業

▼規模拡大による安定経営に向けて、各種補助事業の有効的な活用により経営体質の強化を図る。

▼肉の日を定め、鶏肉や豚肉、牛肉などをPR販売し、消費喚起を促す。



畜産をPRし消費喚起を促す(チキンフェスティバル)

⑥ 商工業の振興

▼お休み処「んだ・なす」や街の駅「まさざね館」を活用した事業展開やプレミアム商品券発行事業なども継続し、商工会の活動支援を強化。

▼新卒者ふるさと雇用支援奨励金制度の周知を徹底し、新卒者の雇用拡大と地元への若者定着を促進。

⑦ 企業誘致

▼村に定着している地場企業の業務拡張を支援し、そこに働く人々の生活環境の整備を図る。

⑧ 観光振興

▼オドデ館を核に受け入れ態勢の整備や情報発信の充実強化を図り、県や沿岸地域と連携し、誘客活動を進める。

▼政実くのへFMについて引き続き取り組み、村の持つ魅力をPR。村民一体となった情報発信に努める。

本日ここに、平成31年第1回九戸村議会定例会が開会されるに当たり、今後の村政運営に対する、私の所信の一端を申し述べ、議員各位ならびに村民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

「農業を柱とした産業振興」「若者の定住と子育て支援」「教育環境の充実」など公約に掲げた7項目を重点施策として取り組み、多く

の村民の皆さまからの切実な声に真摯に向き合いながら、村政運営を進めてまいりました。

平成31年度は、この姿勢を崩すことなく、重点施策を充実強化し、着実な事業展開をすることで、村の将来像である「小さくても活力と笑顔あふれるしあわせの郷九戸村」の創造に向け、渾身の努力で取り組んでまいる所存であります。

2 安心して暮らせる村

①子育て支援

▼医療費助成では、未就学児と妊産婦を対象に現物給付となっているが、対象を拡大し、小学生までを現物給付化とする。

▼保育園・放課後児童クラブでは、人員と設備の充実を図り、一時預かりや居残り保育、また広域入所の実施で、家庭状況に応じた保育サービスの提供に努める。

②保健医療の充実

▼定期予防接種では、小児予防接種を全額補助で全員接種できるように進める。

▼各種がん検診の受診率向上を目指し、休日検診など住民が受診しやすい体制を整える。

▼自殺対策は、うつスクリーニング検査を家庭訪問により実施。要支援者には継続した訪問支援をする。

▼国民健康保険制度については、都道府県単位の運営に拡大し、財政主体に県も加わることで財政運営の改善に努める。

③障がい者福祉の充実

▼親じき後を見据えたサービス利用が必要とされている。相談、緊急時の受け入れなどの必要な機能を備えた地域生活支援ネットワークの整備促進を図るため、サービス利用の入口となる相談支援事業の強化について検討していく。

▼地域活動支援センター「エール」の活動支援、高齢者・障がい者に優しい住まいづくり事業、村単独で実施する助成事業により、障がい者の生活を支援。



すべての人が触れ合う村（もちつき体験）

④高齢者福祉の充実

▼医療機関と介護関係機関との連携を推進し、さまざまな地域団体と連携しながら多様な日常生活の支援体制の充実強化および高齢者の社会参加の推進を図る支え合いの村づくり協議体を構築。支え合い・助け合いの村づくりを推進する。

▼介護予防について、介護予防教室をはじめ、転倒予防教室や水中ウォーキング事業など、シルバリーハビリ体操指導者と連携しながらさまざまな支援事業を実施。



介護予防にさまざまな支援事業（シルリハ体操の集い）

▼あつたか生活支援事業では、高齢者などの低所得者世帯を対象に冬季節における経済的負担軽減を図るための生活支援と福祉の増進。村内での消費拡大を目的とした村共通商品券の支給。

▼九戸村地域福祉計画の重点事項である「地域のつながりの再生」「さまざまな支え合いの実施」「身近な相談支援窓口の充実」に取り組みむこととしており、自助・互助・共助・公助の役割分担と連携の下、施策・事業を総合的に進める。

▼九戸村地域福祉計画に掲げた基本理念である「子どもから高齢者まですべての人が触れ合



保育サービスの提供（年長児親子運動会）



日常生活を支援（支え合いの村づくり研究会）

い、育み合い、助け合いながら安心して暮らすことのできる九戸村」の実現を目指す。

2 安心して暮らす

3 心豊かな村民を育む

① 学校経営

▼豊かな自然・歴史・伝統文化などを取り入れた、地域総ぐるみで子どもたちを育てる地域丸ごと学校づくり構想によって、学校経営の充実に努める。

② 学校運営

▼望ましい教育環境基本計画に従い、現九戸中学校敷地内に施設一体型校舎による小中一貫校、併設型中学校を2022年4月1日開設に向け、建設などの準備を進める。

③ 学力向上

▼小学校の外国語教育推進は、小学校外国語活動補助員を配置するなど、小中連携して取り組む。

▼タブレット端末を活用し、プログラミング教育指導計画を準備、ICT教育の充実に努める。

④ いじめ問題・不適応対策

▼村いじめ防止基本方針により、いじめの早期発見と早期解決に取り組む。
▼重大事態の発生を未然に防止するよう関係機関との



生涯学習を推進（雨堤みで読み聞かせ）

情報交換を密にし、いじめ問題の撲滅を目指す。

⑤ 生涯学習の推進

▼九曜塾は、村内の子どもたちの重要な体験活動となっている。今後も地域と学校が連携・協働して、村の自然や文化伝統、歴史に誇りをもち成長できるよう、推進を図る。

⑥ 文化芸術の振興

▼無形文化財は、九戸の山伏神楽祭典など伝統芸能の発表と鑑賞機会を設け、引き継がれてきた文化性・芸術性の価値を村民で共有し、その保存と継承活動を支援。

▼県指定黒山の昔穴遺跡は国指定に向け、多くの村民が関心を持つてもらえるよう文化財教育の推進に取り組む。

▼古地図は、地区ごとにデータ化し保存してきたが、残る7地区すべてをデータ化し、公民館などで閲覧できるように準備を進める。

⑦ スポーツの振興

▼生涯にわたりスポーツに親しみ、自らの健康を意識してもらう機会を設けながら、健康づくりに連動したスポーツ活動を推進。

▼村民のニーズに対応した施設の計画的な整備などに努め、身近にスポーツに親しむ環境づくりを推進。

⑧ 伊保内高校の支援・存続

▼進路指導や学力向上対策などの支援に重点を置いた補助金を予算計上した。これからも伊保内高校教育振興会をはじめ、関係機関と連携を図りながら支援する。

⑨ 国際交流事業



国際交流の啓発を図る（ドラァアカデミー交流会）

4 美しい自然を永久に

① ごみの減量

▼ごみの総重量の約40%を占める生ごみの減量を図ることが、ごみ全体の減量化につながる。生ごみ電動処理機とコンポストへの助成制度を継続、それらの普及に努める。

▼春と秋の大掃除点検やクリーン九戸行動日といった

イベントによる環境美化活動を継続。

② 風力発電の対応

▼一企業が風力発電の整備を進めている。計画の推移を見ながら、豊かな自然環境、景観、文化財などが損なわれることの無いよう、適切に対処する。



環境保全に努める（水芭蕉まつり）

5 ゆとりある安全な村

① 国道340号の整備

▼地域連携道路整備事業により、長興寺地区北側で交差点改良工事が進められており、今年夏ごろに完成予定となっている。また、村内の歩道未設置地区については、早期事業採択に向け国や県に強く働きかける。

② 若者定住促進住宅の整備

▼新年度、長興寺地区に1棟の建設を予定している。既存の公営住宅については、計画的な維持修繕を実施。

③ 下水道事業

▼経営の健全化を図り、排水処理施設の適正な管理と水洗化率向上に努める。

④ 上水道事業

▼九戸村水道事業基本計画を策定し、将来にわたり安全で良質な水を持続的に供給するため、必要となる施設整備などを計画的に修繕および更新をする。

▼水道未普及地域を対象に、飲料水を確保するための補助事業の周知を図り、飲料水確保にも努める。



交通安全の意識向上を図る（交通安全教室）

⑤ 交通安全対策

▼老朽化が進む交通事故防止を呼びかける看板の更新を計画しており、関係機関や団体と協力しながら、交通安全の啓蒙活動や安全対策を講じる。

⑥ 防犯対策

▼住民共通の願いである、犯罪のない明るい地域社会の実現に向け、関係機関と連携しながら「安心安全な村づくり」に一層努力する。

⑦ 消防防災

▼二戸消防署九戸分署の移転新築について、用地取得と建物の撤去のめどが立ったため、二戸広域行政事務組合と協議していく。

▼村消防団について、自動車ポンプと小型動力ポンプ積載車それぞれ1台の更新と、石油貯蔵施設立地対策交付金を活用して、背負い式消化水のうちの配備を計画している。団員が活動しやすいよう、消防施設・機械器具の整備、充実を進める。

▼業務に支障をきたすことから、災害などによる停電時に安心して行政サービスが継続できるよう、また、迅速に災害対応できる環境を整えるため、非常用電源装置を更新する。

⑧ 消費者対策の充実

▼特殊詐欺の手法は巧妙になっている。被害の未然防止のために、消費者の安全と安心の確保に対する呼びかけをしてきた。今後も、県民生活センターや二戸消費者生活センターなどとの連携により、迅速な解決に努める。

6 皆でつくる協働の村

① 住民参画

▼村民の皆さまと共に協働による村づくりを、新年度においても継続し、住みやすい集落づくりや災害時の助け合いなど相互扶助の体制作りを進める。また、地域の要望を十分に反映させた自治会活動を支援し、明るく活力ある協働の村づくりを推進する。

② 男女共同参画社会の形成

▼男女共同参画サポーター養成講座への参加を促すなど、民間のリーダー養成に努めながら、男女共同参画社会の実現に向けての気運を醸成していく。

③ 行財政改革の推進

▼村では、7次にわたる九戸村行政改革大綱と具体的な実施計画である九戸村行財政改革プログラムにより、行政経費の削減に努め、財政健全化を図ってきた。村内小学校を統合し小中一貫校を新築すること、二戸消防署九戸分署の新築などを勘案すると、今後も一層厳しい財政状況が続くと考えられている。今後も厳しい財政状況が見込まれ、職員体制も限られた中だが、予算と人的資源を最大限に生かし、必要な施策を着実に推進していく。



あらゆる分野で共に参画できる村へ（男の料理教室）



協働による村づくり（九戸クリーン行動日）

⑤ 安全な村

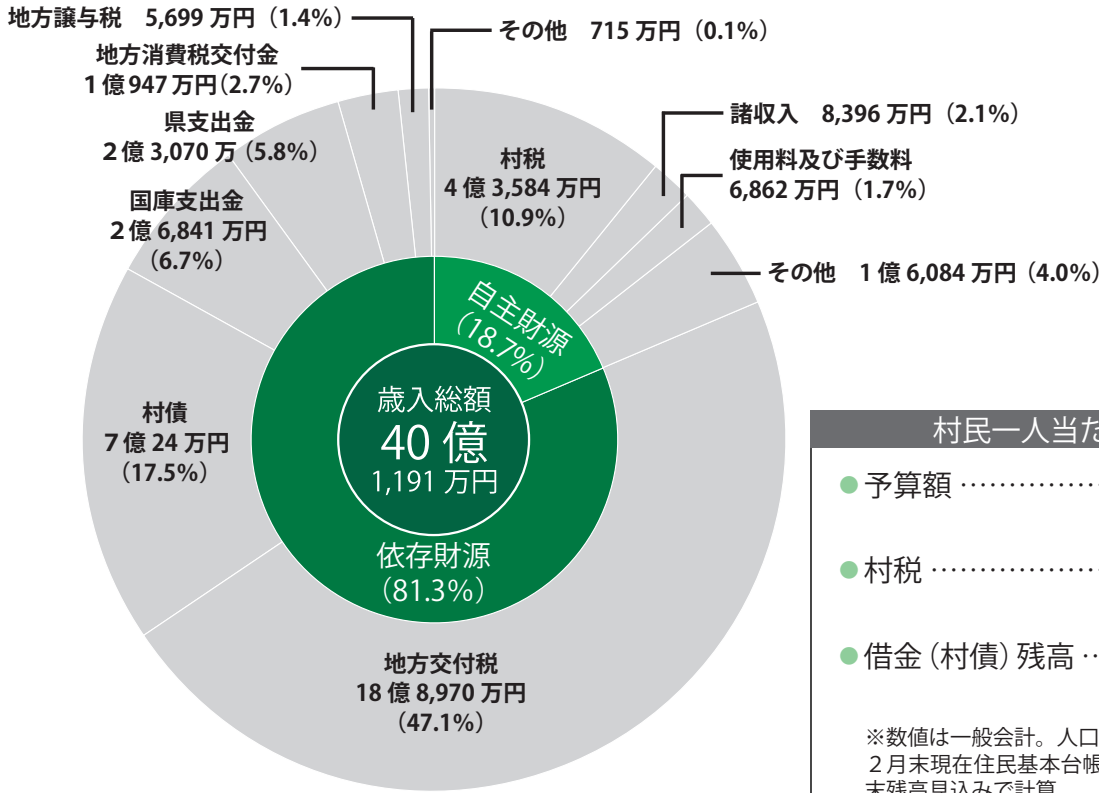
⑥ 協働の村

一般会計

40億1191万円

(前年度比10% ↑)

平成31年度
当初予算



村民一人当たり換算

- 予算額 693,982円 (前年度617,808円)
- 村税 75,392円 (前年度74,146円)
- 借金(村債)残高 888,304円 (前年度784,679円)

※数値は一般会計。人口は5,781人(平成31年2月末現在住民基本台帳人口)、村債は31年度末残高見込みで計算。

一般会計予算の歳入では、地方交付税が18億8970万円です。全体の47・1% (昨年度比6・2%減) を占めています。次に村債、村税、国庫支出金が続きます。自主財源は、昨年度を1億3346万円(21・7%)上回る7億4926万円となりました。村税は177万円(0・4%)減となっています。依存財源は、前年度より2億3215万円増加しました。

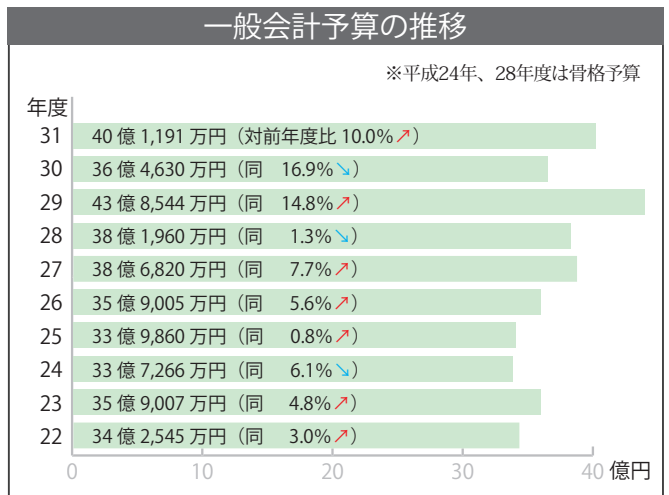
交付税が全体の47%

歳入

平成31年度の一般会計当初予算は、昨年度当初予算を3億6561万円(10%)上回る、40億1191万円となりました。また、一般会計に特別会計や水道事業会計を加えた総予算は50億4529万円です。昨年度より3億1981万円(6・8%)増加しました。

一般会計 前年比10%増

会計名	平成30年度	平成31年度	伸び率	
一般会計	36億4,630万円	40億1,191万円	10.0% ↑	
特別会計	国民健康保険	6億3,457万円	1.6% ↓	
	後期高齢者医療	6,144万円	6,067万円	1.3% ↓
	農業集落排水事業	3,648万円	2,987万円	18.1% ↓
	下水道事業	1億6,691万円	1億3,186万円	21.0% ↓
	索道事業	1,731万円	1,636万円	5.5% ↓
	戸田財産区	519万円	806万円	55.3% ↑
計	伊保内財産区	759万円	895万円	17.9% ↑
	江刺家財産区	634万円	805万円	27.0% ↑
水道事業	1億3,318万円	1億3,499万円	1.4% ↑	
合計	47億2,548万円	50億4,529万円	6.8% ↑	



歳出

総務費が20%でトップ

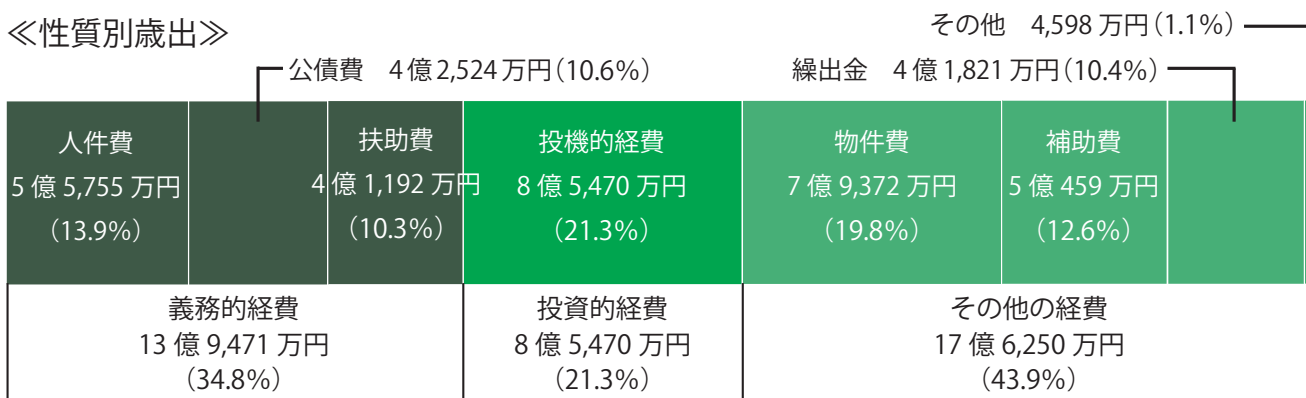
歳出を性質別に見ると、人件費や公債費、扶助費を合わせた義務的経費が前年度とほぼ同額の13億9,471万円。これにその他の経費を加えた一般行政経費は31億5,721万円となり、前年度より1.9%増加しました。投資的経費は前年度より3億6,255万円多い、8億5,470万円となりました。

目的別では、総務費（住民サービスや一般事務経費）が7億8,904万円となり、全体の19.7%でトップ。次いで、民生費（福祉対策や保育園などの経費）が7億8,672万円と続き、全体の19.6%となっています。

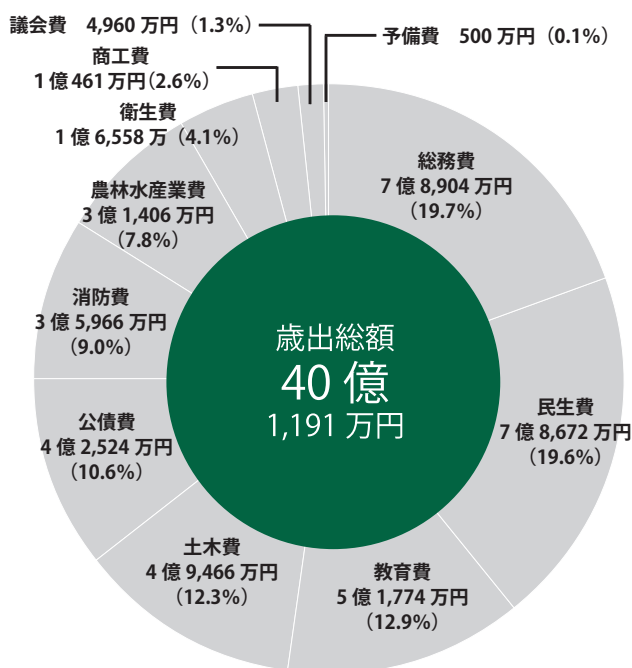


総務費は交通安全運動にも活用（交通安全パレード）

《性質別歳出》



《目的別歳出》



水道事業会計予算の内訳

- ◆ 収益的収入・支出
(1年間の損益取引)
 - ・ 収入…1億3,499万円
 - ・ 支出…1億3,499万円

- ◆ 資本的収入・支出
(投下資本の増減に関する取引)
 - ・ 収入…710万円
 - ・ 支出…6,855万円

※収入不足の6,145万円は過年度分損益勘定留保資金等で補てんされます。

用語解説

《歳入》

- 【地方交付税】 財政力に応じて国から配分されるお金。
- 【村債】 村が国などから借りるお金。
- 【自主財源】 村が自主的に収入することができる財源。
- 【依存財源】 国や県から定められた額を交付される財源。

《歳出》

- 【公債費】 村債（借金）の返済に充てるお金。
- 【扶助費】 生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、などの法令に基づいて支出する経費。
- 【物件費】 委託料、賃金、旅費、役務費など。
- 【義務的経費】 人件費や扶助費などのように、村の機能を維持していくために必ず支払わなければならない経費。
- 【投資的経費】 道路の建設などのように、施設が将来に残るものに対する経費。

平成31年度に重点的に取り組む投資的事業の一部を紹介します。
 主な投資的事業として「村道新設改良事業」に1億9894万円、「小中学校施設整備事業」に1億6487万円などとなっています。

平成31年度 一般会計 主な投資的事業

事業名	事業内容	予算額 (万円)
庁舎電話交換機設備更新事業	電話交換機整備更新工事一式	540
交通安全啓発事業	交通安全看板更新工事	154
合併処理浄化槽整備事業補助金交付事業	合併処理浄化槽設置者に対する補助金交付	753
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業	動力噴霧器2台、花き杭打ち機1台ほか	950
経営体育成支援事業	乾燥施設1台、田植え機1台ほか	753
農道改良事業	農道側溝水路修繕工事	1,321
農業生産基盤整備事業	農道山根川目線改良舗装工事など	8,474
オドデ館増改修事業	設計監理業務委託一式	1,609
住宅リフォーム等助成事業	太陽光発電システム導入助成事業など	410
道路維持補修事業	3工区道路補修など	3,945
村道新設改良事業	村道3路線工事など	19,894
橋梁長寿命化修繕事業	田代橋・栄橋長寿命化補修工事	2,706
定住促進住宅建設事業	若者定住促進住宅建設工事1棟	5,763
庁舎非常用発電機設置事業	非常用発電機設置等工事一式	10,328
ポンプ自動車更新事業	第2分団ポンプ自動車購入	2,892
小中学校施設整備事業	小中学校建設工事実施設計業務一式	16,487
教育用コンピュータ等整備事業	中学校教育用コンピュータ等整備一式	686

平成31年度

村職員の人事異動

村職員の人事異動が4月1日付で発令されました。(カッコ内は異動前の職名)

【課長級】

▽総務企画課長兼地域振興班長(住民生活課長兼総合福祉センター所長兼地域包括支援センター所長) 坂野上克彦

▽住民生活課長兼総合福祉センター所長兼地域包括支援センター所長(住民生活課長補佐兼地域福祉班長) 大久保勝彦

▽農林建設課長兼農地農政班長兼農業委員会事務局局長兼水道事業所長(農林建設課長兼農業委員会事務局局長兼水道事業所長) 杉村幸久

▽教育委員会事務局教育次長兼生涯学習班長(教育委員会事務局教育次長補佐兼生涯学習班長) 晴山美佐子

【課長補佐級】

▽総務企画課付課長補佐・二戸地区広域行政事務組合派遣(農林建設課長補佐兼生産振興班長) 細川忍

▽住民生活課長補佐兼地域福祉班長(農林建設課長補佐兼農地農政班長) 浅水渉

▽農林建設課主査兼生産振興班長(農

林建設課主査) 岩崎浩美

【主任級】

▽住民生活課主任(総務企画課付主任・二戸地区広域行政事務組合派遣) 島谷部真利子

▽戸田保育園主任保育士(ひめぼた

るこども園主任保育士) 上村真由美

▽ひめぼたるこども園主任保育士(伊保内保育園主任保育士) 小笠原直子

【主事級】

▽農林建設課主事(総務企画課付主事・野田村派遣) 伊藤勇也

▽農林建設課主事(住民生活課主事) 田澤直樹

▽教育委員会事務局主事(農林建設課主事) 山本猛輝

▽農林建設課主事(農林建設課主事補) 横井俊祐

▽教育委員会主事(教育委員会主事補) 蒲田諒介

▽伊保内保育園保育士(戸田保育園保育士) 堀野恵

【新採用】

▽中山明日香(住民生活課保健師)

▽桂川雄平(農林建設課主事補)

【再任用】

▽中村学(総務企画課)

▽橋本幸子(伊保内保育園)

▽吉川清一郎(総務企画課)

受けよう胃がん検診

《検査日程》

月日	曜日	会場	対象地区
4月8日	月	江刺家ふるさとセンター	田代、柿の木、丸木橋、山屋、細屋
4月9日	火	村老人福祉センター	平内、妻の神、戸田上・下、戸田館の下、山根
4月10日	水	江刺家ふるさとセンター	江刺家上・下、道地
		村保健センター	荒谷、二ツ家、鹿島
4月11日	木	村保健センター	川向、南田、小倉
4月12日	金	宇堂口地区農村婦人の家	瀬月内、宇堂口、泥の木
		長興寺多目的集会施設銀杏会館	長興寺上・下、大向、五枚橋、荒田、雪屋
4月14日	日	村保健センター	伊保内上・下、休日希望者

受付時間は午前6時～午前8時です。

■検診料 1800円

※住民税非課税世帯と70歳以上(平成31年4月1日現在)の人は無料です。

■対象者 40歳以上(平成31年4月1日現在) ※勤務先で同検診がある場合は、そちらで受診しましょう。

■受診できない人
●妊娠中、妊娠している可能性がある
●胃・十二指腸の切除手術をした

●胃疾患で定期的に検査を受けている
●腸閉塞・腸管憩室炎を起したことがある
●気管支炎・肺炎で治療を受けたことがある

●腎臓疾患や心臓疾患などで水分制限をしている
●2日以上便通がない

●受診時の注意
○検診前日の夕食は、午後9時ごろまでに済ませてください。お酒は飲まないでください。

○検診当日は検診終了まで絶食です。たばこは吸わないでください。

■問い合わせ
住民生活課保健衛生班 ☎42-2111内線123

▽古館英一(総務企画課)
▽欠端哲代(戸田保育園)
【退職者】(3月31日付)
▽中村学(総務企画課長兼地域振興班長)
▽橋本幸子(伊保内保育園長兼戸田保育園長)

m u r a n o w a d a i むらのわだい



「チャンチキおけさ」

舞踊発表会

しなやかな踊りに酔いしれる

2月17日、H O Zホールで舞踊発表会（村舞踊研究会主催）が開かれました。踊りや歌など28演目がステージ上で発表。しなやかな踊りや伸びやかな歌声が披露され、来場者は酔いしれていました。

発表会は「チャンチキおけさ」の踊りから始まりました。舞踊研究会会員などが「津軽じょんから節」や「達者でナ」など、踊りや歌を繰り広げ、観客からはたくさんのお花がステージ上に届けられました。また、プログラムの途中には、下田清美さんや佐野よりこさんによる、民謡歌謡ショーが開催されました。会場全体に広がるプロの歌声に、観客たちは目を輝かせながら聞き入っていました。



下田清美さんの歌にのせて
「道中荷方節」を踊る
にかた



佐野よりこさんの歌に合わせ
「津軽じょんから節」を踊る

村カシオペア防犯・交通安全

見て踊って学ぶいかのおすし

2月27日、村カシオペア防犯・交通安全教室がH O Zホールで行われました。園児は防犯や交通安全について、二戸警察署職員や近未来警察カシオペアと学びました。

はじめは、防犯について勉強しました。近未来警察カシオペアの劇を見て、ダンスと一緒に踊り「いかない」「のらない」「おきなこえをだす」「すぐにげる」「しらせる」を意味する「いかのおすし」を学びました。

その後、ホール内に特設の横断歩道がおかれ、近未来警察カシオペアたちから横断歩道の渡り方を教わりました。



スノーモービルがゲレンデを駆け抜ける

くのへスキー場感謝デー

斜面を疾走し爽快感を味わう

3月2日の村営くのへスキー場では、スキー場感謝デーが開かれました。スノーモービル乗車体験やおしるこの販売などのイベントが行われ、親子や友達同士で今シーズン最後の週末を過ごしました。

スノーモービル乗車体験では、子どもや若者などが体験。斜面を猛スピードで疾走するスノーモービルに、爽快感を味わっていました。また、午後8時のフィナーレでは、ゲレンデに「くのへ」の文字焼きが出現。訪れた人は、暗闇に灯る松明に感嘆の声をあげていました。



近未来警察カシオペアから横断歩道の渡り方を学ぶ



中でも多くの賞を受賞した大崎鉄藏（大崎農場）さん

農業生産者の集いに90人 産地体制の確立を目的に集う

村農業生産者の集い（第45回農産共励会）が2月21日、H O Zホールで開かれました。この集いに、およそ90人が出席。農業所得の向上と産地体制の確立を目的に行われました。

集いの中で、農産物の生産状況報告がされました。参加者は、村の主要作目の生育経過についての説明を受けていました。また、村と農業協同組合が生産拡大を奨励している農産物について、褒賞が授与されました。その後、中央農業改良普及センターの山口直己なおみさんが「野生獣の被害防止のポイント」と題した講演をしました。



オープニングを彩った



聴衆を引き込むように「瞼の母」を演じたまぶた



高橋校長から卒業証書を受け取る卒業生

伊保内高校を26人が卒業 新天地への門出を祝福

3月1日、伊保内高等学校で卒業証書授与式が行われました。式には、生徒や教職員、関係者が出席。新天地で活躍する卒業生26人の門出を祝福しました。

式典では、高橋良一よしかず校長から卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。担任から名前を呼ばれた卒業生は、元気な声で返事をしていました。また、卒業生の代表として、関畑雪華きよかさんが「大切な思い出の一つ一つを胸に刻み、私たちは新しいスタートを切り、それぞれの道へと進んでいきます」と声を詰ませながら、答辞を述べました。

当村から4人が受賞 ポスターで防火思想普及図る

2月22日、二戸地区広域行政事務組合消防本部で火災予防運動ポスターコンクール（二戸地区危険物安全協会主催）の表彰式が行われました。防火思想の普及を図ることを目的とした火災予防運動ポスターコンクール。当村からは、特選1人、入選1人、佳作2人が選ばれました。

今回受賞した4人を紹介します。（敬称略）

- 特選 中村凜（伊保内小6年）
- 入選 日向優那（同）
- 佳作 松田侑莉朱（伊保内小5年）、山本汐織（長興寺小5年）



受賞した4人（左から日向優那さん、中村凜さん、松田侑莉朱さん、山本汐織さん）



30秒いす立ち座りに挑戦する参加者

測定の後、「シルバリーハビリ体操と体力測定」についての講話が行われました。理学療法士の村上敏明さんが、3項目がそれぞれ低下すると、どのような行動に影響するのか、測定結果からどのようなことが分かるのかなど話しました。また、村上さんは、今の体力を低下させずに向上させる、もしくは維持させることが大

3月7日、HOZホールで第3回シルバリーハビリ体操の集いが開かれました。シルバリーハビリ体操は、高齢者にも負担の少なく、かつ効果的な介護予防体操のことです。集いでは、自分の体力を測定してみる時間が設けられました。参加者は3つの項目の体力測定にチャレンジ。自分の体力がどのくらいあるか知ろうと、全員が

シルバリーハビリ体操の集い

～体力を維持・向上させる～

参加しました。チャレンジした内容は、「握力測定」や「30秒いす立ち座り」、いすからパイロンを回っていすに戻る時間を計る「タイムアップ&ゴー」の3項目です。それらの項目を終えた参加者は、保健師から評価を聞きました。評価を聞いた参加者は、自分の体力を知り、一喜一憂していました。

測定の後、「シルバリーハビリ体操と体力測定」

春の全国火災予防運動

～児童ら無火災を呼びかけ～



防災無線に録音しました (写真提供=山根小学校)

春の全国火災予防運動が3月1日から7日にかけて行われました。山根消防クラブの児童は、防災無線で注意喚起。全世界に向けて火災予防を呼びかけました。

村の消防団は、8分団から15分団のポンプ車が隊列を組み、村内を縦断。火災のない村を目指し、ポンプ車を走らせました。

切と話しました。

最後に、会場全体でシルバリーハビリ体操をしました。作業療法士の照井恵利香さんは、体操の動きにどのような効果があるのか説明。リハクのへの会のメンバーが、体操の動きの見本を見せました。参加者は見本を見ながら体操し、介護予防に取り組みました。



リハクのへの会から指導を受けながら体操

九戸村議会議員選挙のお知らせ

▶任期の満了に伴う、九戸村議会議員選挙を次の日程で行います。

■告示日

2019年6月4日(火)

■投票日

2019年6月9日(日)

▶立候補届出等説明会

立候補予定者を対象に説明会を開催します。なお当日は、立候補の届け出に必要な諸用紙などを配布します。

※出席は、1人の立候補

予定者につき2人以内。

■日時

2019年5月15日(水)

午後1時30分～

■場所

九戸村役場3階

第2会議室

■問い合わせ

村選挙管理委員会 ☎
42-21111内線182

友達の輪 48



佐々木 夏海さん
26歳・伊保内下

父と母、祖母の4人で生活して
て、九戸福祉会の職員として働いて
います。

◆趣味は？ 映画を見たり、旅行に
行くことです。最近では、白神山地
に行きました。

◆休みの日は？ 映画館に行ったり、
家で漫画を読んだりすることが多い
です。

◆思い出は？ カウントダウンの音
楽フェスティバルに行ったことです。

◆今後の目標は？ タイやベトナム
など、一週間の海外旅行に行きたい。

友達の輪をつなげていこうと、自分の友人を紹介し
ていくコーナーです。

元気スマイル 49



千葉 ソメさん
昭和5年2月10日生・89歳(長興寺上)

子ども2人、孫4人、ひ孫7人
に恵まれました。現在は、7人で
暮らしています。

◆趣味は？ 紙粘土で二宮金治郎
を作ったり、墨絵を描いたりする
ことです。

◆幸せなことは？ お嫁さんなど
家族の気立が良いこと。

◆嬉しかったことは？ 高齢者創
作作品展で、金賞をとったこと。

◆心掛けていることは？ 大根の
葉のおつゆなど、昔ながらの食事
をすることです。

むらの文芸

第371回 くのへ俳句会

菅野 岑子

万葉の名を持つ草も末枯るる
為む方も無き思ひ抱き冬ごもる
集ふこと楽しみにして納め句座
雪しんしん亡き父のこと母のこと
風花の舞ふを見つめて病んでをり

冬部 雪女

隣り合ふ墓碑に一礼彼岸詣
一ト息を入れて又割る雪の嵩
低空の名残り惜しむや鳥帰る
春炬燵ありて落ちつく一ト間かな
春浅し九戸連邦まだ眠り

春遅々と十七文字の旅日記

田村 畦畔

お彼岸や子孫集まる父母の家
今日も又花壇の雪割少しずつ
裏の川静かとなりし鴨帰る
語り継ぐ震災八年春の雪
東日本震災追悼春の雨
災害と平和で終る平成四月

高島ふみ女

身辺も脳の整理も彼岸前
過去を追い過去いとおしみ鳥帰る
雑壇に床を並べて待つ退院
啓蟄や書ける歩けるおしゃべりも
冴え返る温度設定気にかかる
春隣り水分補給し老いの坂
年号は不戦の祈り弥生尽

館村 青村

荒れてゆく村の農地や彼岸西風
住み馴れし山家の径や雪を割る
養鶏の盛んな村や鳥帰る
捨て農地増えゆく村や雪解風
雪解けて村のあれこれ表われし
雪消えて村の素顔の裏表
絶えてゆく耕す人や過疎の村
先細る村の行方や春うれい

【二月席題詠より】

エアコンと灯油で家計寒くなる (畦 畔)
月一度話弾みし春句会
里山にいのち含ます雪解風 (雪 女)
春の風邪いまも富山の置き薬
当て所なき老いの暮しや春こたつ(青 村)
年寄りには真つ平御免春の風邪



生涯学習アカデミー・女性教室 合同閉講式に41人

2月19日のHOZホールでは、村生涯学習アカデミーと女性教室の合同閉講式が開かれ、41人が思い出話に花を咲かせました。

閉講式では、九戸村民の歌「伸びゆく九戸」を元気に歌い、1年間の講座で撮影された写真を、スライドショーで見ました。写真を見ながら、社会教育指導員の野田寛さんが、講座のできごとを笑いを交えながら話しました。



笑顔で乾杯する参加者

閉講式を終えた参加者は、講座で学んだことを振り返る卒業パーティーを開きました。パーティーでは、1年間で行われた9の講座を

まとめたムービーを観賞しました。また、お弁当や持ち寄った果物などを食べながら、踊りやカラオケなどの余興を楽しみました。最後は大団円を作り、全員で九戸音頭を踊りました。参加者は、来年度も参加しようと思気込んでいました。

1年間の講座内容

- ▼女性教室▼
- ▼6月19日(火) 八幡平サラダファームで寄せ植え体験
- ▼7月10日(火) 100均DIYで小物入れ作り
- ▼8月28日(火) ハーバリウム作り

- ▼9月4日(火) 三陸鉄道「震災学習列車」
- ▼10月2日(火) 岩手網張温泉への旅
- ▼11月6日(火) そばかけ・天ぷら作り
- ▼生涯学習アカデミー▼
- ▼6月5日(火) 移動教室「もっと知ろう九戸村Ⅳ」
- ▼7月3日(火)

- 100均DIYで小物入れ作り
- ▼8月7日(火) ハーバリウム作り
- ▼9月8日(土) 九曜塾の子どもたちの世代間交流
- ▼9月27日(木) 三陸鉄道「震災学習列車」
- ▼11月13日(火) 健康教室「カラオケ」

- ▼生涯学習アカデミー・女性教室合同▼
- ▼5月22日(火) 閉講式(講演「南部美人の挑戦」)
- ▼12月13日(木) 講演「毎日の健康と長寿の決定要因は？」
- ▼1月22日(火) 講演「人生漫談〜人生60歳からが面白い〜」

村体育協会冬季スポーツ賞 九戸中などで表彰式

3月11日に九戸中学校、26日に村役場教育長室で、平成30年度村体育協会スポーツ賞の表彰式が行われました。見事受賞に輝いた6人を紹介します。主な成績、名前、所属の順です。(敬称略・カッコ内は受賞時)

- ▼スポーツ優秀選手賞▼
- ▼県民体育大会スキー競技会成年女子A G S L第3位 浅水洗佳(ひろか)(久慈工業高等学校)
- ▼学校講師▼
- ▼県高等学校スキー大会男子G S L第1位 下川原源太(みなと)(平館高校3年)
- ▼県中学校スキー大会男子G S L全国大会出場 森太久斗(たくと)(九戸中3年)
- ▼全国中学校アイスホッケー大会出場ベスト8 関口道(みち)(九戸中3年)、松澤希龍(きゆうりゅう)(同)、千葉来知(きこ)(九戸中2年)



受賞した浅水さん(あづま)と下川原さん



左から順に関口さん、松澤さん、森さん、千葉さん

九 戸 中 学 校

春駒の会で感謝伝える

3月8日に、九戸中学校で春駒の会が行われ、在校生が先輩に対して今までの感謝の気持ちを伝えるために、ダンスや合唱、呼びかけを行いました。

今年、2月下旬からインフルエンザの影響で十分な練習時間が取れずに、例年より縮

小し行われましたが、在校生の気持ちは卒業生に十分に伝わったと思います。最後のエール交換では、在校



卒業生にエールを送る在校生

生からは「九戸中の伝統は我々が引き継ぎます」、卒業生からは「後は任せただよそのようなメッセージが伝

伊 保 内 高 校

今年も進路決定率100%

進路指導主事 鶴嶋 広喜

今年も進路決定率100%を達成しました。本年度は、昨年12月中旬までに卒業生全員の進路を決めることができました。進学者はすべて第一志望へ合格しました。生徒の努力は

もとより、保護者の協力村と村民の皆さまの物心両面にわたる、絶大な支援のたまものです。深く感謝いたします。進路先は次とおりです。

【進学先】18人
ノデラサイン
北海道教育大学釧路校、電気通信大学、岩手県立大学、東北学院大学、東北福祉大学、盛岡大学短期大学部、岩手県立産業技術短期大学校、盛岡看護医療大学校、浦和専門学校、八戸市医師会立八戸准看護学院、専修大学北上福祉教育専門学校、盛岡カレッジオブビジネス、大原簿記情報ビジネス専門学校横浜校、仙台リゾート&スポーツ専門学校、文化服装学院、上野法律ビジネス専門学校、盛岡公務員法律専門学校

【就職先】8人
(株)阿部繁孝商店、(株)アラタ、(有)阿部悦三商店、いわて県北クリーン(株)、(株)PJ二戸フーズ、(株)第一原農場、テオー食品(株)、(株)オ

た。わってくるエール交換でした。(副校長 山崎弘貴)

Books 今月のおすすめ図書

宝島

真藤 順史 著／講談社



第160回直木賞受賞作品。沖縄の米軍基地から物資を盗み出す戦果アギヤーは年端もいかない少年少女たち。「生還こそ一番の戦果」と言っていたリーダーがある夜突然に消えた。奪われた沖縄を取り戻すため、少年少女は立ち上がる。

ほかけ 火影に咲く

木村 昇 著／集英社

沖田総司、高杉晋作、吉田稔麿、坂本龍馬、中村半次郎。幕末の京を駆けつけた志士と、思いを交わした女たち。彼らが生きたかけがいのない一瞬を鮮やかに描き出す珠玉の短編集。



怒らないコツ

植西 聡 著／自由国民社



あなたが怒れば怒るほど、幸せは遠ざかっていく。怒りという感情は、どこから生まれてくるのでしょうか。それは人の心です。心から怒りという感情は発せられるのです。その気づきが怒らない生き方への出発点になります。(「まえがき」より)

あしたから1ねんせい

きむらゆういち 作／新日本出版社

ゆうくんは明日から1年生。学校ってどんなところかなあ…?

期待でワクワク。不安でドキドキ。新しい生活を始める新1年生に送る応援絵本!!



○開館時間／平日9時～19時・土日祝9時～17時
○休館日／年末年始

腸を健康にして病気に負けない体づくり

春は、環境の変化などで、疲れやストレスが溜まりやすい季節です。そこでおすすめするのが、頼れる腸の応援団「発酵食品」です。

腸の中では「善玉菌」、「悪玉菌」どちらかの勢力の強い方になびいて働く「日和見菌」の3つがあり、このバランスが腸内の健康を左右します。善玉菌や善玉菌を助ける働きをする菌をたくさん含む食品は、「納豆」「みそ」「酢」「しょうゆ」「キムチ」「ヨーグルト」「甘酒」などがあげられます。

■悪玉菌が増えると

大腸の動きを鈍くして便秘になったり、逆に腸の動きが活発になりすぎて、下痢になることがあります。悪玉菌が作り出すたくさんの有害物質を早く出すためというのが原因の一つです。

■腸は病原菌やウイルスから体を守る

腸は、私たちの体を敵（病原菌やウイルス）から守る大切な場所です。ここでは、病原体の発見や

情報伝達、病原体そのものへの攻撃などの役割を果たしています。腸内の環境が悪くなると、免疫力が落ち、病気にかかりやすい体になってしまいます。

■善玉菌を増やす方法

乳酸菌をとることで。この乳酸菌を元気にするのは、「オリゴ糖」や「食物繊維」（穀類、豆類、ごぼう、アスパラ、青菜類、キャベツ、白菜、さつまいも、さといも、こんにゃく、キノコ類、海藻類）があります。これらは腸内の善玉菌の援軍となります。

■食事以外にも大切なこと

適度な運動と十分な睡眠、そして朝ごはんをとることです。これから山菜の季節となりますが、食物繊維が豊富に含まれます。また、独特の苦味が冬の間に溜まった毒素を出す働きがあります。

何かと忙しい時期ですが、毎日休むことなく頑張る腸と元気に過ごしていきましょう。

（栄養士 高見館ハスミ）

学生特例の国保被保険者証の更新

修学のため他市区町村に住所があつても、村の国保被保険者証を使うことができます。（修学による特例被保険者）

在学状況などに合わせて、保険証の更新や喪失の手続きが必要になりますので、次のとおり手続きをお願いします。

※修学先を卒業後、村外の住所地にて居住を続ける場合は、住所地での国民健康保険の加入が必要になります。また、喪失手続きをすするまでの間、国保資格は継続となります。保険料が生じてしまう場合がありますので、ご了承ください。

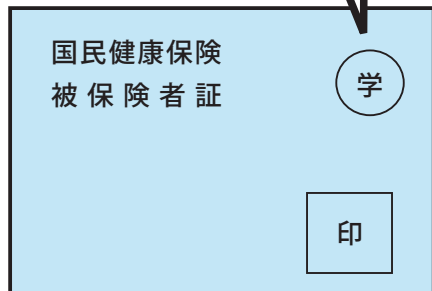
■手続きに必要なもの

- ▶ 進級および進学による更新
- ① 申請書用紙（対象世帯には、3月に黄色の用紙で送付しています）
- ② 在学証明書（学生証の写しでは手続きできません）
- ③ 所得または収入のわかる公的証明書（住所地の市区町村に申告をしている場合）
- ④ 印鑑

▶ 就職などによる喪失

- ① 学生特例の村国保被保険者証（返還）
- ② 卒業証明書または就職などにより加入した被保険者証

被保険者証の右上に、『学』の表記がある人が対象。



国民年金保険料を納めましょう

2019年4月から2020年3月分までの国民年金保険料は、月額「16,410円」です。

保険料は、日本年金機構から送られる納付書により、金融機関や郵便局、コンビニで納めることができます。

クレジットカードやインターネットを利用しての納付、便利でお得な口座振替もあります。また、

前納制度を利用するとさらに保険料が引きさされお得です。

所得が少ないなどの理由で納付が困難な場合は、免除や猶予される制度がありますので、役場の国民年金窓口や年金事務所にご相談ください。

国民年金は、あなたの老後の生活やもしもの時の大きな支えです。きちんと納期内に納めましょう。

消防署だより

問 二戸消防署九戸分署 ☎ 42-3119

5月31日まで山火事防止月間

■山火事防止運動統一標語
『忘れない』

豊かな森と

火の怖さ

3月1日から5月31日まで山火事防止運動月間です。空気が乾燥し、山火事が多く発生する季節になりました。火の取り扱いには十分注意しましょう。

■山火事防止運動重点事項

- ▼火災が起こりやすい場所では、焚き火をしない。
- ▼火気の使用中はその場を離れず、完全に消火。
- ▼火入れを行うときは市町村長の許可を受ける。
- ▼指定された場所で喫煙。吸い殻を捨てない。
- ▼火遊びをさせない。

村内の火災・救急（2月分）

区分	件数	1月から累計	前年比
火災	0件	0件	±0件
救急	27件	55件	+1件

新入学期の交通事故防止推進期間

■推進期間

4月6日から15日までの10日間

■ドライバーの歩行者保護意識醸成と道路横断者の交通マナー向上

- ①歩行者は道路を横断するときは横断歩道を渡る。ドライバーは横断歩道で横断しようとする歩行者がいる場合は、必ず停止する。
- ②運転中に子どもを見かけたら、飛び出しなどの危険を予測、速度を落とし安全な間隔を保って走行。
- ③道路を利用するすべての人が、「止まる」「見る」「待つ」を心掛け、交通事故を防止。

■自転車の安全利用の推進

自転車は車の仲間です。自転車安全利用五則を守り、交通事故を防止しましょう。

◆自転車安全五則

- ①自転車は、車道が原則。
- ②車道は左側を通行。
- ③歩道は歩行者優先で、車道寄りを行く。
- ④飲酒運転や二人乗りの禁止、夜間はライトを点灯するなど安全

ルールを守る。

⑤子どもはヘルメットを着用。

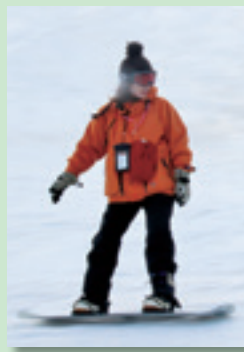
■全座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

- ①シートベルトやチャイルドシートを正しく着用していないと、交通事故に遭ったとき、車外に投げ出されるなど重大事故につながるおそれがあります。
- ②交通事故から大切な命を守るために、ドライバーの皆さんは、車に乗ったすべての人にシートベルト、チャイルドシートを正しく装着させましょう。

村内の交通事故（2月分）

区分	件数	1月からの累計	前年比
人身事故	0件	0件	±0件
物損事故	6件	16件	-2件
負傷者	0人	0人	±0人
死亡者	0人	0人	±0人
飲酒運転者 飲酒検挙者	0人	0人	±0人

◎村の交通死亡事故ゼロ日数…293日
(2月28日現在)



休日当番医 (9:00 ~ 17:00)

月	日	医療機関	電話
4	7	松井内科医院	33-2201
	14	おりそ内科循環器クリニック	22-2251
	21	小野寺クリニック	46-2822
	28	千葉耳鼻咽喉科医院	26-8133
	29	菅整形外科皮膚科クリニック	23-7311
5	1	川村医院	23-3252
	3	いちのへ内科クリニック	33-2701
	4	齋藤産婦人科医院	23-2505
	5	カシオペア医院	23-3331
	6	ふくもりたこどもクリニック	43-3137

休日当番歯科医 (9:00 ~ 12:00)

月	日	医療機関	電話	
4	7	宮沢歯科医院	46-2953	
	14	国香歯科医院 (裏小路)	23-2223	
	21	渡辺歯科医院	23-2052	
	28	沢藤歯科医院	25-4002	
	29	菅原歯科クリニック	23-1180	
	30	小野寺歯科医院	33-3050	
		国香歯科医院	23-2223	
		ぽっぽ歯科クリニック	31-1182	
	5	1	小野寺歯科医院	33-3050
			堀米歯科医院	46-2927
		国香歯科医院	23-2223	
		ぽっぽ歯科クリニック	31-1182	
2		岩淵歯科医院	32-2238	
		堀米歯科医院	46-2927	
		ぽっぽ歯科クリニック	31-1182	
3		こしみず歯科クリニック	33-4618	
4		窪島歯科医院	23-2425	
5		菅原歯科医院	27-3301	
6	ぽっぽ歯科クリニック	31-1182		

お詫びと訂正

◆広報くのへ3月号8頁の「男の料理教室」の記事で、小野寺加代子さんを食の匠と表記しましたが、正しくは、介護予防教室のボランティアでした。また、9頁の「友達の手」の記事で、奥様のお名前が香織さんではなく、花織さんでした。
お詫びして訂正します。

福祉活動費 一部を助成

村共同募金委員会では、皆さんから協力いただいた赤い羽根共同募金を基に、さまざまな福祉事業を展開しています。

そこで、平成31年度の赤い羽根共同募金を基に、翌年平成32年度に実施を予定している村内福祉活動実施団体に活動費の一部を助成します。

■対象団体

地域福祉活動実施団体（各種福祉団体、自治会、町内会、福祉施設など）

■対象事業

地域での高齢者見守り活動、子育てサロン、地域の福祉活動、社会福祉を目的とする事業など

■募集締切 4月26日（金）

■助成の決定

申請後、審査委員会で審査の上、村募金委員会で審議され、県共同募金会で助成が決定されます。

■申し込み・問い合わせ

村総合福祉センター内・村共同募金委員会、村社会福祉協議会（☎41-1200）

※申請用紙は村社会福祉協議会にあります。

ごみ収集日 4月

収集区域	瀬内内／宇堂口／泥の木／平内／妻の神戸田上・下／館の下山根／荒谷／ニツ家	鹿島／伊保内上・下川向／南田	小倉／長興寺上・下大向／五枚橋／荒田雪屋／田代／柿の木江刺家上・下／道地丸木橋／山屋／細屋
燃えるごみ	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週金曜日
ビン・金物	4月1日(月)	4月2日(火)	4月8日(月)
空き缶	4月15日(月)	4月16日(火)	4月22日(月)
粗大ごみ	4月9日(火)		4月23日(火)
紙・プラ類	4月11日(木)	4月17日(水)	4月25日(木)

※指定日に、指定の袋で出しましょう。

☎住民生活課保健衛生班 ☎42-2111 内線123





人のうごき

(平成31年3月1日現在)

●人口	5,781人	(-7)
男	2,777人	(+3)
女	3,004人	(-10)
●世帯数	2,167世帯	(±0)
	(カッコ内は前月比)	
転入	3人	(6人)
転出	6人	(10人)
出生	3人	(4人)
死亡	7人	(21人)

(カッコ内は1月からの累計)

スタッフくへの+



県民の森で 木工教室開催

県民の森では、木工教室を開催します。

《木工教室・花台》

■日時

4月13日(土)
午前9時～午後3時30分

■場所

県民の森 木材工芸センター

■申し込み・問い合わせ

森林ふれあい学習館フォレストi
(☎ 0195-78-2092)

阿部繁孝商店 正社員を募集

株式会社阿部繁孝商店九戸工場では、正社員を募集しています。技術習得までの育成サポート体制を整えており、初心者の人でも大歓迎です。

■仕事内容 鶏肉解体加工作業

■給与 基本給169,000円
賞与年3回、昇給あり

■就業時間 午前8時～午後5時

■休日・休暇 日曜日ほか当社カレンダーによります。

■その他 送迎バスもあります。

■問い合わせ 株式会社阿部繁孝商店九戸工場・田村 (☎ 42-2255)

編集後記

◆広報を作り始めて1年が経ちました。ですが、まだ写真撮影に苦慮しています。(涙) ◆個人的に一眼レフのカメラを買いましたが、数枚撮って部屋のインテリアに…。 ◆新年度こそは、休みの日にカメラを持ち歩きながら、撮影テクニックを磨いていきたいと思います。(前川)

神経内科の 名称が変更

岩手県立二戸病院の神経内科の名称が、日本神経学会の規定改正によって、次のとおり変更となります。

■変更月日

4月1日(月)から

■変更内容

▷変更前…神経内科

▷変更後…脳神経内科

■問い合わせ

岩手県立二戸病院 (☎ 23-2191)

骨髄ドナー登録・ 血液検査を実施

二戸保健所では、HIVなどの血液検査および骨髄ドナー登録事業を実施します。費用は無料です。

《血液検査》

■内容

HIV抗体(エイズ)検査、性器クラミジア検査、肝炎ウイルス検査、梅毒検査

■日時

原則毎月第3木曜日
午後1時30分～午後2時30分

■その他

要予約。また、適切な検査時期などがあるため、必ず事前に保健所へ電話連絡が必要です。

《骨髄ドナー登録》

■日時

原則毎月第3木曜日
午後2時30分～午後3時30分

■その他

ドナー登録には条件があります。

■問い合わせ

二戸保健所保健課 (☎ 23-9206)



園児から大人までさまざま世代で踊った「U.S.A.」

オドデ塾ふれあい演芸まつり

地域のつながり
演芸で再確認

3月3日、江刺家小学校で第25回オドデ塾ふれあい演芸まつりが開催されました。ステージでは24演目が行われ、オドデ塾生を中心に、さまざまな団体が出演。特別ゲストも出演し、会場は盛り上がりました。

伊保内保育園年長組の女の子9人は、はつらつと「パプリカ」を踊り、男の子5人は元気よく「U・S・A」を踊りました。懸命に踊るほほえましい光景に、来場者の表情は和らいでいました。また、オドデ塾生と高校生は、平成ダンスモデルとして、平成を彩った名曲に合わせ、活力に満ちた踊りを披露しました。

江刺家神楽保存会や伊保内高校郷土芸能委員会など3グループはそれぞれ、江刺家神楽を舞いました。江刺家地域

に根付く神楽が演舞され、来場者は圧巻の舞に見入っていました。

ゲストとして、久慈市から参加したネオや、葛巻町の酪農兼業シンガー橘和徳さん、ギターの名手松本秀人さんのデュオの2グループがさらに舞台を盛り上げました。ネオは、スコップ三味線で「望郷じょんから」を演奏。また、オドデJrとオドデ塾とコラボし、「立佞武多」を披露しました。橘さんはテレビ番組に出演した時の美声を披露。ジブリメドレーやオリジナルの「家族写真」、「千のありがとう」などを歌い、来場者は歌声に酔いしれていました。

演芸まつりには、さまざまな世代の人が訪れ、演芸を通して、地域のつながりを再確認していました。

美声を会場全体に響かせた橘さんと松本さん



ラッセラーの掛け声とともに気持ちが高鳴るステージ

